

令和4年度 第12回柿崎区地域協議会次第

日時：令和5年2月14日（火） 午後6時～
場所：柿崎地区公民館 3階 集会室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 会議録署名委員の指名

4 自主的審議事項

(1) 柿崎区内の保育園の今後のあり方について

① 町内会長及び保護者会役員への周知文書（案）について

・・・・・・・・資料1 資料2 別紙1 別紙2

② 柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書（案）について・・・・・・・・資料3

5 報告事項

(1) J-ホールディングスグループの整理について・・・・・・・・資料4

(2) 柿崎区地域協議会各種委員会からの活動報告・・・・・・・・資料5

6 その他

(1) 第5回地域活性化の方向性の作成検討会について

日 時：令和5年2月14日（火） 地域協議会終了後

会 場：柿崎地区公民館 3階 集会室

(2) 令和4年度まちづくりフォーラムの開催について

日 時：令和5年2月19日（日） 午後1時30分～

会 場：柿崎コミュニティプラザ 4階 ホール

- (3) 第26回柿崎空き家活かそうプロジェクト会議の開催について
日 時：令和5年2月27日（月） 午後6時～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (4) 第8回柿崎区地域協議会だより編集委員会の開催について
日 時：令和5年2月28日（火） 午後6時30分～
会 場：柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- (5) 第13回柿崎区地域協議会の開催について
日 時：令和5年3月14日（火） 午後6時～
会 場：柿崎地区公民館 3階 集会室

7 閉 会

令和 5 年 2 月 21 日

町内会長 様

柿崎区地域協議会
会長 吉井 一寛

柿崎区の保育園のあり方に関する意見書の提出について

春寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日ごろから地域協議会の活動にご理解、ご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

地域協議会は、地域の課題を議論し、意見を取りまとめて市長に伝えることが役割です。地域での身近な暮らしの課題から、地域特性を生かしたまちづくりのあり方に至るまで、さまざまなテーマについて自主的に調査・研究・検討し、その結果を市長に意見書として提言することができます。

柿崎区には現在、柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園の 4 保育園が配置されていますが、4 保育園とも建設から 37 年以上が経過し施設の老朽化が進み、園児数も年々減少し定員割れをしています。さらに、核家族化や共働きによる家庭環境の変化、勤務体系の複雑化等により保育のニーズも多様化してきていますが、区内には 0 歳児の受け入れができない保育園や開園時間が異なる保育園があり、サービスに差が生じています。

このような保育環境の現状を踏まえ、柿崎区地域協議会は平成 26 年度から自主的審議事項として「区内の保育園の将来的なあり方」の検討を始め、これまで 8 年間、子どもたちにとって望ましい保育環境の整備と保育サービスの充実を一番に考え、継続して審議を行ってきました。この度、審議結果を集約し、以下のとおりまとめましたのでご報告します。

昨年 6 月に区内保育園や近年統合し新築したなおえつ保育園を視察し、11 月には保護者会役員との懇談会や保護者会役員を対象に「保育園のあり方に関するアンケート調査」を実施しました。懇談会での意見交換、アンケート調査の結果を基に地域協議会で協議した結果、「区内 4 保育園を統合し新築」の内容で意見書をまとめ市へ提出することとしましたので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケート調査や懇談会でご意見のありました「開園時間の拡大」「通園バスの利便性の向上」等の課題解決につきましても、意見書に盛り込みたいと考えています。

ご参考に、アンケート調査結果をお付けしましたので、ご一読いただきご意見がありましたら、事務局へご連絡くださいますようお願いいたします。

記

1 意見書提出時期

- ・ 3月～4月

2 意見書の内容

- ・ 区内4保育園を統合し新築

3 4保育園統合の理由

- ・ 施設の老朽化
- ・ 園児数の減少
- ・ 保育園間におけるサービスの差異
- ・ アンケート調査結果で、「区内4保育園を統合し新築」と答えた役員が過半数を超えたこと
- ・ 懇談会での意見交換において、施設や園児数、サービスの現状を踏まえ4保育園統合に理解していただいたこと

4 添付資料

- ・ 資料1 保護者会役員を対象に実施した「保育園のあり方に関するアンケート調査」結果

事務局：柿崎区総合事務所
総務・地域振興グループ 熊木、大場
電 話：536-2211
F A X：536-2227
E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

令和 5 年 2 月 21 日

保育園保護者会役員 様

柿崎区地域協議会

会長 吉井 一寛

みんなの保育園を考える会

委員長 小山 慶

柿崎区の保育園のあり方に関する意見書の提出について

春寒の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、昨年 11 月の懇談会及びアンケート調査にご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

地域協議会は、地域の課題を議論し、意見を取りまとめて市長に伝えることが役割です。地域での身近な暮らしの課題から、地域特性を生かしたまちづくりのあり方に至るまで、さまざまなテーマについて自主的に調査・研究・検討し、その結果を市長に意見書として提言することができます。

区内保育園の老朽化や出生数の激減、保育サービスの多様化等から、柿崎区地域協議会は子どもたちの保育環境を整えるため、区内の保育園の将来的なあり方を検討してきました。

アンケート調査では、区内保育園のあり方について、過半数の役員の皆さんが「区内 4 保育園を統合し新築」と回答され、意見交換においても施設の老朽化や園児数の減少、サービスの現状等を考慮し、4 保育園統合に一定のご理解をいただきました。

このような結果を踏まえ、地域協議会で協議した結果、「区内 4 保育園を統合し新築」の内容で意見書をまとめ市へ提出することとしましたので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

なお、保育園のあり方に関するアンケート調査や懇談会でご意見のありました「開園時間の拡大」「通園バスの利便性の向上」等の課題解決につきましても、意見書に盛り込みたいと考えています。

ご参考に、アンケート調査結果及び懇談会の意見交換内容をまとめましたので、ご一読いただければ幸いに存じます。

記

1 意見書提出時期

- ・ 3月～4月

2 意見書の内容

- ・ 区内4保育園を統合し新築

3 統合の理由

- ・ 施設の老朽化
- ・ 園児数の減少
- ・ 保育サービスの充実
- ・ アンケート調査結果で「区内4保育園を統合し新築」と答えた役員が過半数を超えたこと
- ・ 懇談会での意見交換において、施設や園児数、サービスの現状を踏まえ4保育園統合に理解していただいたこと

4 添付資料

- ・ 資料1 保護者会役員を対象とした「保育園のあり方に関するアンケート調査」結果
- ・ 資料2 保護者会役員との懇談会の内容

事務局：柿崎区総合事務所
総務・地域振興グループ 熊木、大場
電 話：536-2211
F A X：536-2227
E-mail：kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

令和5年 月 日

上越市長 中川 幹太 様

柿崎区地域協議会
会長 吉井 一寛

柿崎区内の保育園の今後のあり方に関する意見書

上越市地域自治区の設置に関する条例第7条第1項の規定に基づき、「柿崎区内の保育園の今後のあり方」について自主的に審議した結果、下記のとおり意見を取りまとめましたので提出します。

記

柿崎区には現在、柿崎第一保育園、柿崎第二保育園、上下浜保育園、下黒川保育園の4保育園が配置されていますが、4保育園とも建設から37年以上が経過し施設の老朽化が進み、園児数も年々減少し定員割れをしています。出生数も激減し、平成17年度には87人の子どもが生まれていましたが、今年度は30人を切ると見込まれます。さらに、核家族化や共働きによる家庭環境の変化、勤務体系の複雑化等により保育のニーズも多様化してきていますが、区内には0歳児の受け入れができない保育園や開園時間が異なる保育園があり、サービスに差が生じています。

このような保育環境の現状を踏まえ、柿崎区地域協議会は平成26年度から自主的審議事項として「区内の保育園の将来的なあり方」の検討を始め、これまで8年間、子どもたちにとって望ましい保育環境の整備と保育サービスの充実を一番に考え、継続して審議を行ってきました。

昨年6月に区内保育園や、近年統合し新築したなおえつ保育園を視察し、区内保育園の現状と課題を把握しました。さらに、11月には保護者会役員との懇談会や保護者会役員を対象に「保育園のあり方に関するアンケート調査」を実施し、実際に保育園を利用している保護者の考え、意見の聴取に努めました。

アンケート調査では、区内保育園のあり方について、6割近くの役員が「区内4保育園を統合し新築」と回答され、意見交換においても施設の老朽化や園児数の減少、サービスの現状等を踏まえ、区内4保育園の統合に一定のご理解をいただいたものと考えています。

つきましては、子どもがより良い保育環境で成長できるよう、次の項目の早期実現を強く望みます。

1 柿崎区内の保育園の今後のあり方

- ・ 柿崎区内の4保育園を統合し、新たに保育園を建設すること。
- ・ 保育園の新築場所については、保護者の通勤等を考慮すること。
また、豪雨による浸水や豪雪時の交通障害等の自然災害に十分考慮すること。
- ・ 保育園統合に伴い通園距離が長くなる園児が増えることから、通園バスの運行時間や便数の増便など、園児の送迎に十分配慮すること。

2 保育サービスの充実

- ・ 保育時間を拡大すること。
- ・ 病児・病後児保育を実施すること。
- ・ 通園バスの利便性を向上させること。
- ・ 保育士の配置を充実させること。

保育園のあり方に関するアンケート調査結果

■目的

- 区内4保育園は老朽化が進み、園児数も年々減少し定員割れを起こしている。さらに、出生数も激減し、近い将来30人を切ると見込まれることから、柿崎区地域協議会は今年1月に「みんなの保育園を考える会」を立ち上げ、視察や保育環境整備の検討を続けてきた。今後、保護者の意見を基に柿崎区の保育園のあり方をまとめるため、保護者会役員との懇談会においてアンケート調査を実施した。

■対象者

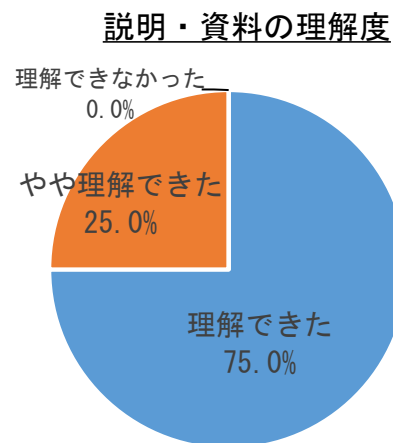
- 保護者会役員及び懇談会代理出席者（回答率94.1%）

■実施日

- 令和4年11月19日（懇談会のなかで回答）
- 懇談会を欠席した役員は、11月22日～12月2日に保育園を通じて実施

Q 1 説明の内容、資料の内容をご理解いただけましたか。

	回答者数（人）	割合（%）
理解できた	24	75.0
やや理解できた	8	25.0
理解できなかった	0	0.0
計	32	100.0

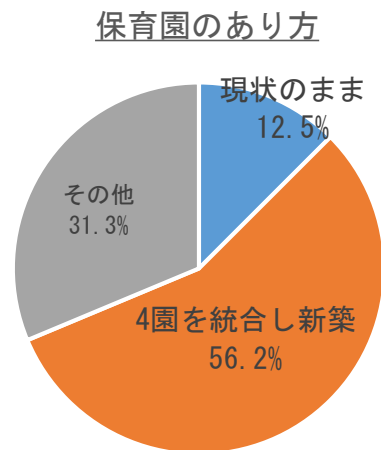


Q 2 保育園で最も必要なサービスは何ですか。3つ以内で順位をつけてください。

	1位回答者数	2位回答者数	3位回答者数
保育時間の拡大（早朝・延長）	9	4	3
休日保育の実施（日曜・祝日）		5	1
土曜日の開園時間の延長	4	1	2
一時預かりの実施		2	3
0歳児保育の実施		5	
病児・病後児保育の実施	6	1	3
障害児保育の充実			1
育児相談の開催		1	1
英語、音楽等の時間の充実	1	4	1
保育士の配置の充実	4	1	3
給食費の無料化		2	4
通園バスの利便性向上	1		4
その他	1		

Q3 今後、区内4保育園のあり方をどう考えますか。

	回答者数 (人)	割合 (%)
現状のまま	4	12.5
4園を統合し新築	18	56.2
その他	10	31.3
計	32	100.0



[その他の内容]

1 統合について

- 出生数をみる限り、統合し新築するしかないと思う。
- 初めに第一保育園、第二保育園に子どもたちをまとめてから新築は難しいのか。
- 市議に伺ったところ、新築するお金が無いとのことだった。統合せざるを得ない状況なので、とりあえず第二保育園と上下浜保育園の2園に減らし、徐々に第二保育園1園にしていけば良いと思う。
- 少人数保育のように、個々の発達具合や特性等に寄り添える保育が充実できるのであれば、統合するにあたって心配はないかなと思う。
- 子どもが減っているので統合も悪いことではないが、デメリットや園児が増えることによってケガや事故が増えたりするのではないかと不安もある。
- 各保育園の特色を出した運営を希望。子どもが少ないから、すぐに統合となるのは反対
- どちらでも構わないが、安心安全な立地、建物、手厚い保育をお願いする。
- どちらとも言えない。
- 子どもが過ごしやすい環境であればどちらでも良い。

2 通園バスの運行について

- 4園を1か所にまとめるのは、あまりに遠い人が出てきて不公平と思われる。不便になればなる程、不便な地域に人が住まなくなり過疎化が進む。
- 4園が1つに統合したら送り迎えや位置が心配だ。4→2園などでも良いと思うが、1つになることでのメリットが示されれば納得すると思う。

3 その他

- 4園でなくても新しくしてほしい。
- 現状のままが良いけれど、資金がたくさんかかるなら、かからない方にして他にうまく使ってほしい。
- 他の公共インフラを活用できないのか。上越市全体の人口減少に伴い確実に余る施設も増える。

Q 4 保育園の整備、保育サービス等について、自由にご意見を記入してください。

1 保育環境について

- 区内の4保育園のサービスに差異が生じているので、施設設備や保育サービスの改善がなされるとよい。
- 土曜日の保育の給食提供があると利用がしやすい。
- 子育て広場の充実・共有
- コロナ禍や少子化、共働きで保育時間が長くなることで、子どもたちが外で遊ぶ機会や体を動かす機会が減っている。自然の豊さも取り入れながら室内・外で子どもたちが思い切り体を動かせる環境づくりをしてほしい。
- 感染症対策がとれるように環境整備をしてほしいが、他学年と交流することも子どもたちにとっていい経験になるので、そのときの状況に合わせた保育を行ってほしい。
- 子どもたちに安心な素材や木のぬくもりを感じられる保育園。子どもたちや保育者に心の余裕が生まれる環境づくり
- 愛着の持てる保育園にしてほしい。
- 建て直しされる際は、将来若いお母さん、お父さんが大事な子どもを預けたい保育園にしてください。費用も頑張ってもらって出してもらってください。市長にかけ合ってください。

2 統合について

- 出生数の今後の減少を考えると、私は一気に4園を統合すべきだと思う。まずは小学校区ごとに第一保育園と第二保育園を統合する案も考えたが、柿崎区は小学校も一部で統廃合の議論が出ているのかなと思うし、上下浜保育園と下黒川保育園の愕然とするほどの園児の減少への対応が解決できないなとも思った。
- 出生数の推移をみると、今後も減少傾向が続くそう。長い目で見たときに「4園を統合」が一番現実的だと思う。
- 園児の減少により保育園の行事に影響があるように感じる。保護者会の運営も難しいので統合を強く希望する。
- 減少、老朽化・そうなると4つの統合となるような資料で、現状のままのメリットを感じる資料ではなかった。統合ありきなのか。
- 5年、10年ではなく30年先を見据えて考える。小・中学校も教室が余っているが活用できないか。
- 大きな園、小さな園それぞれに良い所があるので、話し合ってもなかなか進まないのではと思った。

3 通園バスの運行について

- 4園を統合する際、通園の利便性向上も同時に進めていかないといけないと思う。利便性が悪いと通う子も少なくなってしまう。
- 4園の統合は賛成だが、保育園の場所によっては遠くなる方も多くなるため、通園バスの利便性などでカバーしてほしい。
- 2か所くらいにまとめることと、近隣の利便性の高い地域以外の場所に通園バスを走らせ、利便性をあげてもらいたい。仕事をしている人向けに早い時間のバスも走らせてほしい。
- 私が保育園を選ぶ際に重点に置いたのは、ズバリ「立地（送迎のしやすさ）」だ。統合することで、どこに保育園が設置されるのかが重要ポイントだと思うが、家族が送迎しなくても「通園バス」の利便性をよくしたり、新築するならばっと設備も充実すると思う。

(Q4の続き)

4 施設の老朽化の不安について

- ・施設の老朽化が進んでいるので、保育環境として不安を感じている。
- ・保育園の老朽化は通園していて心配なので、早急に対応してほしい。
- ・各保育園の老朽化もあるので、安全に子どもたちに過ごしてほしい。園児数も少なくなってきた、先生方は、より一人ひとりをよくみてくださっているが、親としては人数が少なくて寂しい。

5 保育士について

- ・先生方が余裕をもって子どもたちに接していただき、子どもも保育者（保護者、先生方）も安心して過ごせれば良いと思う。
- ・柿崎区に住んでいて、今の保育園に対して不満がある親御さんがいるのであれば、直江津方面の幼稚園、保育園に入れれば良いと思う。私は、柿崎第一保育園の先生方、本当に良くしてくださっているので、感謝しかない。
- ・いつも子どもが楽しく通っていて、先生方にはとても感謝している。

6 入園基準について

- ・仕事をしているので、預けたいときに簡単に入園できるようにしてほしい。仕事を始めたいと思ったときに、ハードルが下がってくると就労しやすい。
- ・柿崎だと選択が近くの保育園だけなのに「仕事をしていないと入れません」と言われるのはつらい。保育園を基準に仕事を探さないといけないのは違う気がする。

7 設備整備について

- ・園内で遊ぶ遊具の充実化を希望
- ・和式トイレについては、古い公園のトイレなどに和式トイレしかないこともあり、保育園で1か所くらい残して使い方を教えてもらえた方がありがたい。先日、子どもが初めての場所でトイレへ駆け込んだら、和式しかなくとても焦ったが、幸い我が子は使ったことがあり何とかあったが…。

8 民営化について

- ・少子化等の現状を考えて統合はやむを得ないが、民営化はしてほしくない。
- ・サービスの質が落ちるため民営化は反対だ。

9 駐車場等について

- ・第一保育園の駐車スペースが少なく道も狭いため、悪天候時や混雑する時間帯は危険に感じることもある。今後、統合し新築する場合は駐車スペースを広く確保していただきたい。また、現状では送迎時間帯の逆走禁止などのルールを決めていただき、看板などで周知していただきたい。
- ・自家車での送迎の方も多いため、安全に子どもたちを送迎できる立地や動線・環境づくりをしてほしい。

10 開園時間について

- ・片親だと保育園の開園時間が短い場合、残業ができないなどの問題があるため、園の統合前に開園時間だけでも統一できないか。

11 病児・病後児保育について

- ・病児保育等のサポートも中心部だけでなく、区にもないと地元で子育て、就労が難しい。

(Q4の続き)

12 その他

- いろいろな意見を聞くことができ有意義な時間でした。良い機会をありがとうございました。今回のように保育園の保護者を対象に土曜日に開催するのであれば、子どもを預けられるコーナーがあると一層出席しやすいと思った。
- より状況が分かると思うので、働く先生方の意見が分かる資料なども見たかった。保護者アンケートをもっと実施したり、本日の資料のように現状をたくさんの方に知ってもらった方が、さまざまな意見をくみ取れるのではないかと思う。
- 私は、上下浜保育園が入園前からあることを知っていたので、ありきで考えていたが、「統合しました」や新しい保育園しかなかったのであれば、きっとどうにかしていたと思う（柿崎方面に行ったり、まつかぜ保育園に行ったりなど）

保育園保護者会役員との懇談会 意見交換の内容（令和4年11月19日開催）

■柿崎第一保育園

[要望・意見]

- ①病児、病後児保育の充実
- ②保育時間の拡大
- ③土曜日、日曜日、祝日の開園時間の延長
- ④産前、産後の保育制度はあるが十分ではない。
- ⑤延長保育時間帯に体操教室、ピアノ教室などを開設してほしい。
- ⑥通園バスの利便性向上
- ⑦保育園に合わせて勤務先を選んで就労する実情があるので、いつでも安心して入られる保育園
- ⑧米を持参してもよいから、温かいごはんを出してほしい。
- ⑨中学校の給食のごはんが余っているようだから、保育園に回せないか。
- ⑩統合して1つになれば、ベテランの保育士が減る。また、どこに保育園ができるか心配

■柿崎第二保育園

[説明に対する理解]

- ①児童数の減少は、上の子どものおときと比べて理解している。
- ②説明は理解した。
- ③現在は保育園ごとにサービスに差があるので、平等になるようにするべきと感じた。

[保育園の統合について]

- ①児童数の減少は理解していて、仕方がないとも思う。
- ②柿崎第二保育園は、他の保育園より広範囲から通ってきているので、抵抗が少ないのではないかと。
- ③地域の子どもたちが小さいころから一緒に育つことで地元愛が育まれると思う。自宅の近くに保育園があることが望ましい。
- ④統合することに反対ではないが、民間経営には抵抗がある(保育園バスの置き去り事件や0歳児に給食を与えなかった事件などは、みんな民間経営であった)
- ⑤最新の設備には興味がなく、古い施設であっても良質な保育士に保育してもらおう方を希望する(民間は採算が取れないと保育の質や保育士の質が低下するリスクがある)
- ⑥クラスの人数は、少ないのも子どもの成長に心配であるが、多いのも保育士の目が届かず心配である。

[保育園に希望するサービス] 話題にあがった項目

- ①**保育時間の拡大**: 共働き及び同居祖父母が就労している家族も多いため、早朝及び延長保育の時間を拡大してほしい。保育園の送迎のために仕事を変更したり、パートになったりしている保護者もいる。
- ②**通園バスの利便性向上**: フルタイムで働いている保護者が利用できるよう、時間を調整するとか、本数を増やしてほしい。
- ③**英語教育など**: 求めている。時代の流れで外国人労働者家族が増えれば自然と身につくのではないかと。
- ④**土日保育について**: (保育サービスに合わせて勤務を調整している方々なので希望が無いとの意見だった)兄弟の上の子が小学生で土日に家にいるので、土日の保育サービスを希望していない。祖父母にお願いできる保護者も多いように感じる。土曜日保育を利用したことがあるが、回数を重ねると子どもが嫌がるようになったため、それ以降は利用していない。
- ⑤**病児保育**: (保育サービスに合わせて勤務を調整している方々なので希望が無いとの意見であった)子どもの具合が悪ければ、仕事を休んで病院に連れていったり、付き添ったりできる。

■上下浜保育園

[意見]

- ①統合した保育園の保護者の意見、感想を参考にしなかった。
- ②経験したこと(統合)がないことに対して意見を出すのは難しい。
- ③保育園が近くにあると地域(地元)の人たちとのコミュニケーションも図れて良い。
- ④統合すると1クラスの人数が多くなり、対応できない子もいる。
- ⑤1クラスの人数が少ない方が、先生の目が届きやすく良い。
- ⑥上下浜は未満児を見てくれる家庭が多い。
- ⑦新しい保育園にするのであれば、他の保育園にはない柿崎の特色がある保育園にしてほしい。
- ⑧体力が衰えている子が多く、自然を感じられて、外で思い切り遊べる保育園が良い。
- ⑨土曜日の正午以降の一時預かりを断られたことがある(通っている園児でないと預かってもらえない)
- ⑩統合されて園児が増えると、友達(仲間)が増えて良い。

■下黒川保育園

[説明に対する疑問・意見]

- ①おおむね理解できた。
- ②「上越市第4期保育園の再配置等に係る計画」といって今回のように保護者にどうしてほしいかの意見を聞かせてと言うが、「市としてはどうしたいのか。まず案を示して、その案に対して意見を……」というのが正しいと思う。
- ③アンケートは良いと思うし必要だと思う。
- ④統合におおむね賛成。でも反対の人もいると思う。その反対意見を拾って「見える化」できないか。
- ⑤アンケートが懇談会参加者にしか配付・回収されないのであれば、分母が少ないと思う。
- ⑥特にアンケートのQ2は、個人の環境によって左右される項目が多いと思うので、全保護者に配付・回収して集計していただきたい。
- ⑦保育園を担当する部署の保育課と小学校を担当する教育委員会の横のつながりをもっと強くして、子育てと子ども教育を同一線上で見られる、語られる工夫をしてほしい。
- ⑧すでに小学校での複式学級の問題や統合の話も出ている中で不安である。

[感想]

- ①参加者すべての人が発言していたし、個人の意見も話の中に入ってきたが、参加者は保護者役員であり、やはり役員目線での意見が多かったと感じた。
- ②また、今後については地域から「統合はいたしかたない」という気持ちが強く感じた中で、行政に対し「スピード感がない」が見えた。
- ③出生数が減少しているのは、昨日、今日でない。「9年かけまだなの？これからあと何年かかるの……？」この状態では、さらに人口減少になるのではと心配される意見もあった。

本資料は、市が、令和 5 年 1 月 31 日（火）に文教経済常任委員会所管事務調査にて提出・説明した資料と同様です。

○ 温浴宿泊施設が抱える課題について

1 第三セクター等の経営健全化

- ・ 多くの温浴宿泊施設では、第三セクター等が指定管理者として運営しているが、社会情勢の変化やコロナ禍等により施設の利用者数が著しく減少するなど厳しい経営環境にあり、一層の経営健全化が求められている。

2 温浴宿泊施設の活性化の推進

- ・ 温浴宿泊施設の活性化には、施設を設置する地域等からの協力は必須であり、令和 4 年度に実施したサウンディング型市場調査の結果を踏まえ、ファンクラブ等による支援やイベントの開催など、市と指定管理者、地域が一体となり、施設の活性化に向けた取組（アクションプラン）を検討し、実施していく。

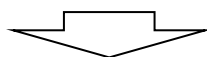
※ 本調査においては、市の温浴宿泊施設で指定管理者となっている J-ホールディングスグループの経営健全化（上記 1）の取組として、同社の整理について説明

○ J-ホールディングスグループの整理について

1 令和 4 年第 6 回（12 月）上越市議会定例会文教経済常任委員会【所管事務調査】で説明した内容

(1) J-ホールディングスグループにおける現状の課題

- ・ 各事業会社に管理部門（総務や経理、営業、施設管理）を有しており、グループ全体で効率的なマネジメントをする必要がある。
- ・ グループ全体で合計 5 社が存在しており、それぞれで決算業務を行っているほか、各社で法人税等が課税されるなど多額の固定経費が発生しているため、抜本的な組織改編による合理化を図る必要がある。
- ・ 現状の持ち株会社制では、J-ホールディングス株の経費について、同社の自己資金と事業会社の負担金により賄っており、グループの継続性に課題がある。



事業会社の集約と J-ホールディングス株の解散により、経営の効率化を図る。

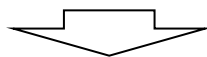
(2) 事業会社集約の効果について

① 集約による経費縮減の効果額 …… 年間 約 8,000 千円

- ・ 管理部門の集約により人件費や専門家報酬等の削減など、現在の持ち株会社制から集約会社に移行した場合に確実に得られる効果

② その他の主な効果

- ・ 本社に、総務や経理、営業、施設管理の専門スタッフを配置することにより、より質の高い業務遂行で業績向上につなげるほか、後継者の育成も可能
- ・ コロナ禍により縮減した人員体制について、今後の利用者数の増加に対応するため、事業所間で人員を流動化することで過度に人員を増やさず、管理運営に係る経費を抑制することが可能



集約会社が経営健全化のために実施するアクションプランを
基に策定する事業計画や収支計画で明確にする。

2 集約（合併）会社の概要等について

(1) 集約（合併）に伴う組織再編について

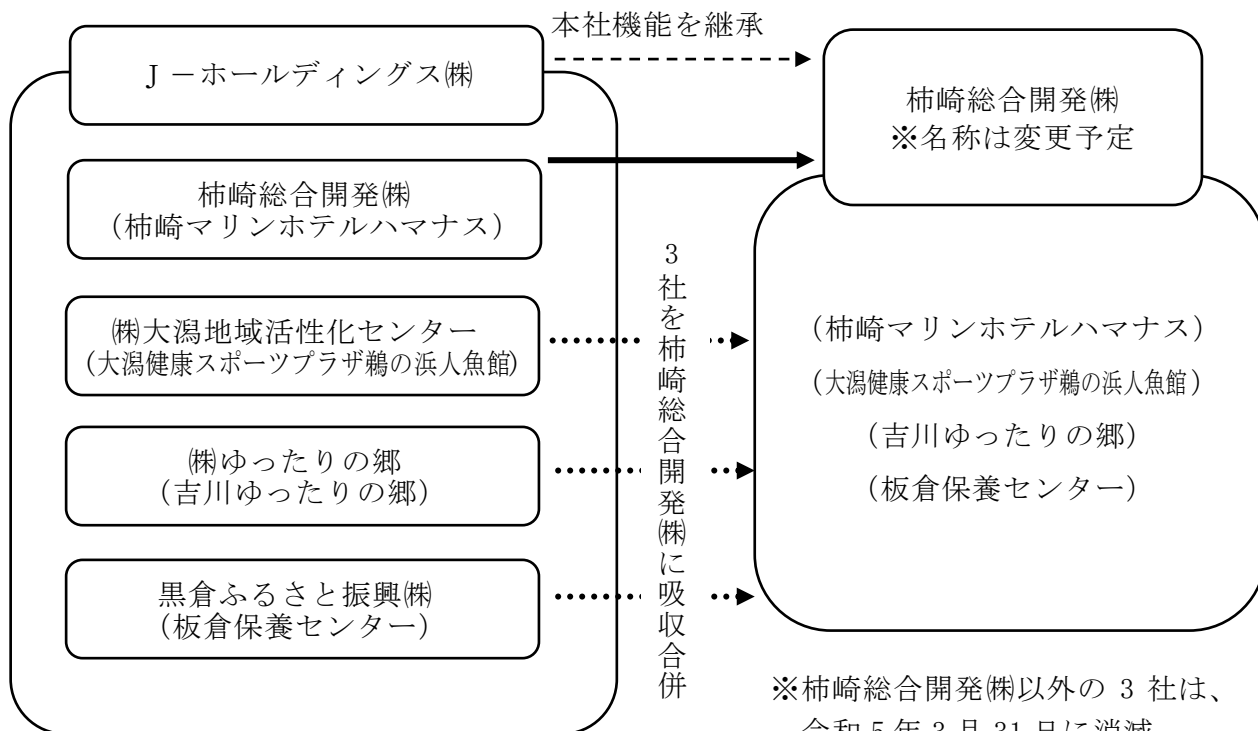
- ・ 柿崎総合開発㈱を存続会社とし、残りの3社（㈱ゆったりの郷、㈱大潟地域活性化センター、黒倉ふるさと振興㈱）を吸収合併の手法で集約することにより、4法人で4施設の運営から、1法人で事業部制による4施設の運営に移行する。
- ・ 事業会社の集約（合併）に併せ、Jーホールディングス㈱を解散する。
- ・ これまでJーホールディングス㈱が担っていた事業会社に対する経営指導等の業務は、集約（合併）会社の本社部門が担う。

【事業会社吸収合併のイメージ図】

【集約（吸収合併）前】

【集約（吸収合併）後】

※ Jーホールディングス㈱は解散



※柿崎総合開発㈱以外の3社は、令和5年3月31日に消滅
3社が保有する権利や従業員等の全てが柿崎総合開発㈱に引き継がれる

(2) 合併会社の概要（案）について

会社名	柿崎総合開発㈱ ※3月下旬に開催予定の臨時株主総会で新社名への変更を決議する。
	【存続会社とした理由】 取引における信用力の観点から事業会社4社の中で最も資本金の額が大きい柿崎総合開発㈱を存続会社とする。
本店所在地	上越市吉川区長峰100（吉川ゆったりの郷）
	【本店所在地とした理由】 一体的な視点により4施設の経営を改善していくことから、4施設の間地点にあるほか、最も集客数が多い施設であり、同社の中心的な存在となっている吉川ゆったりの郷に本店を置くこととする。
合併予定日	令和5年4月1日
組織体制	(1) 取締役会 ・3月下旬に開催予定の柿崎総合開発㈱の臨時株主総会で、4月1日以降、同社を取締役会設置会社とする。 ・選任する取締役については、柿崎総合開発㈱の現代表取締役である田知花氏のほか、現事業会社の代表取締役や外部人材の招聘等を検討する。
	(2) 代表取締役 ・合併会社の取締役会において代表取締役を選任する。
	(3) 支配人 ・当面、現在の事業会社の代表取締役を各施設の支配人とする。
	(4) 従業員 ・正規・非正規を問わず、全従業員の雇用を継続する方針 ・全従業員は、現在の給与水準のままとする。

(3) 合併会社及び各事業所のアクションプラン及び数値目標 別冊「経営改善計画概要」のとおり

3 Jーホールディングス㈱の解散及び清算について

- ・ 事業会社の合併に伴い、令和5年3月31日に解散する予定
- ・ Jーホールディングス㈱の試算では、残余財産は、令和4年3月末時点の簿価を基準に、解散等に係る諸費用を踏まえ算定した場合、約284,000千円となる見込みであり、株主に対しては1株当たり約278円となる見込みである。
- ・ なお、残余財産の分配に当たっては、顧問公認会計士から、簿価ではなく時価や収益還元法による算定を検討すべきとの助言があることから、今後、専門家とも協議の上、最終的な分配額を決定する予定である。

4 今後の主なスケジュール（案）

時期	内容
令和5年1月31日	文教経済常任委員会所管事務調査
令和5年2月	株主説明会 （事業計画、法人概要説明、分配額見込み） Jーホールディングス(株) 取締役会 （事業会社合併、同社解散の決議） 事業会社4社 臨時株主総会 （事業会社合併契約書の締結決議） 事業会社4社 合併契約書の締結、官報へ公告
令和5年3月	各種許認可変更手続 Jーホールディングス(株) 臨時株主総会 （事業会社合併の報告、Jーホールディングス(株)解散の決議） 柿崎総合開発(株) 臨時株主総会 （定款変更（会社名等）、取締役選任の決議）
令和5年3月31日	Jーホールディングス(株)の解散
令和5年4月1日	合併会社による事業開始
令和5年6月	Jーホールディングス(株) 定時株主総会
令和5年9月頃	Jーホールディングス(株) 株主へ残余財産を分配 Jーホールディングス(株) 清算終了

※ Jーホールディングス(株)は、令和5年4月1日以降から清算終了までの間、合併会社に対する議決権の行使や残余財産の分配などの活動を行う。

経営改善計画概要

～好老社会に感謝でこたえ、新たな挑戦を続ける～

J-ホールディングス株式会社

柿崎総合開発株式会社(合併存続会社)

株式会社ゆったりの郷

株式会社大潟地域活性化センター

黒倉ふるさと振興株式会社

Copyright(c)2023 柿崎総合開発株式会社

All Rights Reserved

■ 合併の目的・期待される効果①

□ 経営理念・社内ルールの一歩化

- ・ 従業員の意識や行動指針の統一による業務改善の促進
- ・ 組織としての判断スピードとレベルの向上

□ 売上の増加・顧客の開拓

- ・ スケールメリットを活かした販売促進（広報戦略の連携、施設の連動企画）

□ 人員の流動化・効率化による経費削減

- ・ 間接部門を本社に集約することによる人件費の削減
- ・ 集約した専門人員による原価・管理コストの分析→コスト削減率の向上
- ・ 外部講師の招聘、社内研修の実施など従業員の教育環境の整備
- ・ 勤怠管理システム、会計ソフト等の統一化による経費削減、業務効率化
- ・ 繁閑差を考慮した流動的な人員配置

■ 合併の目的・期待される効果②

□ 仕入原価・重複固定費の削減

- ・ スケールメリットを活かしたアメニティ等の一括発注の実施
- ・ 各施設の資産の共有化による投資効率の向上

□ 労働環境の改善

- ・ 働き方改革の実現に向けた長時間労働の是正
- ・ 休暇取得の促進等による従業員のパフォーマンスの向上

※現従業員については（正規・非正規）を問わず、雇用を継続

現給を保証するが、昇給については、合併存続会社の給与規定に準じる

■新会社の概要

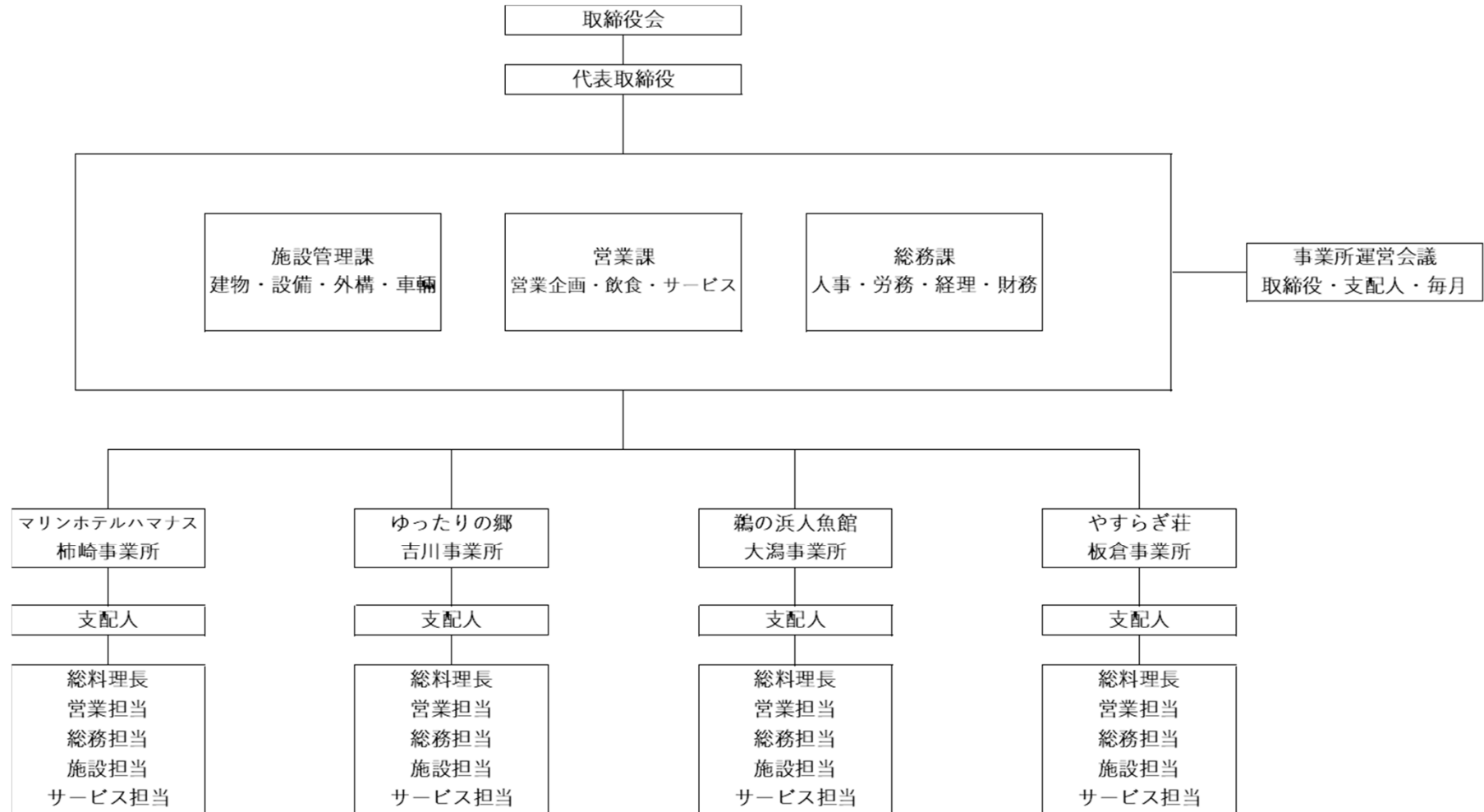
合併存続会社	柿崎総合開発株式会社(名称は変更予定)
本社所在地	上越市吉川区長峰100(吉川ゆったりの郷)
合併予定日	令和5年4月1日
基本理念	<p>「好老社会※に感謝でこたえ、新たな挑戦を続ける」</p> <ul style="list-style-type: none">各施設が設立時の思いに立ち返り、地域の高齢化の中でふるさとに人が集う場として変わらず存在し続け、引き続き地域に支えられることへの感謝。創業時から大きく変化した社会の中で、第三セクターとしての新たなアイデンティティを構築するための挑戦。 <p>※好老社会:安らかに生まれ、健やかに育ち、朗らかに働き、和やかに老いる。「ふるさと創生論」から引用</p>
経営理念	<ul style="list-style-type: none">□地域の皆さんに愛される施設であり続ける□会社の挑戦を新たな成果に繋げる□従業員による改革を永続的な企業発展に繋げる

■新会社の経営方針

- **業務は全てお客様の満足に繋がっている**
 - ・業務目的の明確化による売上・集客の向上
- **ヒト・モノ・コト・カネを本社に集中する**
 - ・本社と事業所の責任・権限・役割の明確化
 - ・意思決定の仕組みを変更（報連相の徹底、業務フローの作成）
- **稼ぐ力をつける**
 - ・業務改善に挑戦、付加価値の創出
 - ・目標、期限、成果の数値化
- **第三セクターとしてCSR（企業の社会的責任）の取組を推進する**
 - ・障害者雇用、障害者施設との連携など社会貢献の実現と人員不足の解消

■新会社の姿

柿崎総合開発株式会社(合併後)組織図(案)



■ [全社] アクションプラン・数値目標

■ 主なアクションプラン

【組織管理】

- 事業会社4社の合併 … スケールメリットの享受、経営理念等の明確化・共有
- 組織体制の再構築 … 総務・営業など専門部署の設置、組織体制・職務分掌の明確化
- 社内決裁のルール化 … 稟議や購買などの規程、決裁ルールの整備
- 経営判断の迅速化、実効性の向上 … 月1回の経営会議や営業会議の開催
- スタッフ教育の充実 … サービス向上に関連する講師派遣の活用、研修会の実施

【営業管理】

- 広報の拡大・効率化 … 広報戦略や広報媒体の見直し、SNSの利用促進
- 各施設が連動した企画の実施 … 施設をまたいだ企画の実施、旅行会社との連携
- 売店販売の情報共有と商品開発 … 品揃えと販売動向の調査、予実管理の徹底
- 地域との連携強化 … ファンクラブとの連携、地域イベントの開催等（別途、市や地域と協議の上、施設活性化に向けた取組を検討）

■ [全社] アクションプラン・数値目標

■ 主なアクションプラン

【業務管理】

- 勤務管理手法の効率化 … 全社一括出退勤管理システムの導入の検討
- 施設管理業務の効率化 … 施設管理部門の本社直轄、自社修繕の増加
- 業務実施方法の確立 … 仕様書の作成、法令遵守事項等の明確化

【財務管理】

- 法人数減による税金コストの圧縮 … 法人税等の圧縮、累積欠損金の承継
- 会計コストの圧縮 … 税理士や社会保険労務士への委託業務の見直し、会計ソフトの統一
- 所有資産の共有化 … バスやイベント使用備品などの共有化
- 部門別損益管理の徹底 … 各施設や各部門ごとの損益管理の徹底
- 各種契約内容の見直し … 保険や委託の内容や単価の見直し

■ [全社] アクションプラン・数値目標

■ 数値目標(単位:千円)

勘定科目	H31.3期	R4.3期	R5.3期	R6.3期	R7.3期
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)
	コロナ前	直前期	進行期	合併後	合併後
施設利用収入	402,976	216,066	248,812	288,602	321,865
指定管理料(※1)	49,072	98,445	122,508	102,903	79,548
経営指導料	940	5,997	1,990	0	0
その他収入	52,016	0	0	0	0
総売上高	505,004	320,508	373,310	391,505	401,413
売上原価	126,577	52,424	62,046	68,793	77,004
売上総利益	378,427	268,084	311,264	322,712	324,409
人件費	227,563	154,850	150,766	161,700	163,954
減価償却費	2,826	877	449	364	322
水道光熱費	94,260	73,896	89,200	98,800	101,200
エネルギー価格補填金(※2)	0	0	△ 24,011	△ 27,355	△ 28,128
その他経費	90,107	72,135	67,501	66,806	68,738
販売費・一般管理費	414,756	301,758	283,905	300,315	306,086
営業利益	△ 36,329	△ 33,674	27,359	22,397	18,323
経常利益	△ 31,086	△ 7,731	35,064	23,518	19,444
税引前当期利益	△ 32,222	△ 18,936	82,224	23,518	19,444
人件費率(※3)	56.5%	71.7%	60.6%	56.0%	50.9%
販売費・一般管理费率(※3)	102.9%	139.7%	114.1%	104.1%	95.1%
指定管理料を除く営業利益	△ 85,401	△ 132,119	△ 95,149	△ 80,506	△ 61,225
人員数	役員(非常勤除く)	11	10	7	3
	従業員(正規雇用)	44	32	30	33
	従業員(非正規雇用)	50	41	45	46
	合計	105	83	82	82

※1 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

※2 市と指定管理者の協定に基づき、エネルギー価格の高騰に伴う市からの補填金があることを仮定しております。

※3 施設利用収入に対する比率を算出しております。

■ [マリンホテルハマナス] アクションプラン・数値目標

■ 一歩先の未来像

- 目の前の海とこだわりの魚料理が自慢の小さなリゾートホテル
- 南越後サイクリングロードの玄関口



■ 主なアクションプラン

- オペレーションの改善 … 情報伝達ルールの見直し、業務マニュアルの作成
- 集客手法の強化 … 強みの海を徹底訴求、滞在型ホテルとしての在り方の検討
- レストランの集客強化 … ホテルレストランとしての認知強化、食べログの活用
- 売上の確保 … 地産地消が売りの料理の提供、美味柿崎ブランドのブランディング強化
- 原価率の低減 … 価格が安い時期の大量仕入れ、直接仕入れ

■ [マリンホテルハマナス] アクションプラン・数値目標

■ 数値目標(単位:千円)

勘定科目	H31.3期	R4.3期	R5.3期	R6.3期	R7.3期	
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)	
	コロナ前	直前期	進行期	合併後	合併後	
施設利用収入	101,482	55,043	70,598	82,686	93,586	
指定管理料(※1)	3,435	25,356	33,263	26,487	17,439	
総売上高	104,917	80,399	103,861	109,173	111,025	
売上原価	29,130	12,774	19,838	22,160	24,613	
売上総利益	75,787	67,625	84,023	87,013	86,412	
人件費	50,964	44,131	41,687	47,055	47,055	
減価償却費	95	177	176	127	127	
水道光熱費	16,919	13,299	17,600	21,000	22,000	
エネルギー価格補填金(※2)	0	0	△ 6,810	△ 8,126	△ 8,513	
本部経費配賦	0	0	0	1,385	1,409	
その他経費	25,543	20,293	17,461	18,391	20,125	
販売費・一般管理費	93,521	77,900	70,114	79,832	82,203	
営業利益	△ 17,734	△ 10,275	13,909	7,181	4,209	
経常利益	△ 15,202	166	16,309	7,181	4,210	
税引前当期利益	△ 15,275	166	16,309	7,181	4,210	
人件費率(※3)	50.2%	80.2%	59.0%	56.9%	50.3%	
販売費・一般管理費率(※3)	92.2%	141.5%	99.3%	96.5%	87.8%	
指定管理料を除く営業利益	△ 21,169	△ 35,631	△ 19,354	△ 19,306	△ 13,230	
人 員 数	役員(非常勤除く)	2	1	1	0	0
	従業員(正規雇用)	8	8	7	8	8
	従業員(非正規雇用)	14	13	15	15	15
	合計	24	22	23	23	23

※1 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

※2 市と指定管理者の協定に基づき、エネルギー価格の高騰に伴う市からの補填金があることを仮定しております。

※3 施設利用収入に対する比率を算出しております。

■ [長峰温泉ゆったりの郷] アクションプラン・数値目標

■ 一歩先の未来像

- 頸北地域の多機能温泉施設
- 道の駅の拠点施設として関連施設との連携強化



■ 主なアクションプラン

- 働き方改革の推進 … 社員の業務多能工化、休暇取得の促進等によるモチベーションの向上
- 広報活動の強化 … ホームページのスマートフォン対応やSNS活用による若者向け対応
- イベント実施の強化 … 年間イベント計画の作成、道の駅との連携強化
- レストランの売上向上 … メニューや品目の見直し、原価を見据えた価格の改定
- 宴会需要の回復 … 顧客リストを基にしたダイレクトメールの発送など営業の強化

■ [長峰温泉ゆったりの郷] アクションプラン・数値目標

■ 数値目標(単位:千円)

勘定科目	H31.3期	R4.3期	R5.3期	R6.3期	R7.3期	
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)	
	コロナ前	直前期	進行期	合併後	合併後	
施設利用収入	154,249	81,394	89,075	100,471	109,614	
指定管理料(※1)	4,807	14,431	18,925	13,529	7,386	
総売上高	159,056	95,825	108,000	114,000	117,000	
売上原価	41,953	20,703	19,850	23,660	26,280	
売上総利益	117,103	75,122	88,150	90,340	90,720	
人件費	57,397	34,662	39,679	41,397	42,792	
減価償却費	0	0	0	0	0	
水道光熱費	24,975	21,359	24,000	24,000	24,000	
エネルギー価格補填金(※2)	0	0	△ 3,866	△ 3,866	△ 3,866	
本部経費配賦	0	0	0	1,683	1,650	
その他経費	34,538	27,129	25,154	24,605	24,605	
販売費・一般管理費	116,910	83,150	84,967	87,819	89,181	
営業利益	193	△ 8,028	3,183	2,521	1,539	
経常利益	835	6	6,283	3,141	2,159	
税引前当期利益	835	6	6,283	3,141	2,159	
人件費率(※3)	37.2%	42.6%	44.5%	41.2%	39.0%	
販売費・一般管理費率(※3)	75.8%	102.2%	95.4%	87.4%	81.4%	
指定管理料を除く営業利益	△ 4,614	△ 22,459	△ 15,742	△ 11,008	△ 5,847	
人 員 数	役員(非常勤除く)	3	2	2	0	0
	従業員(正規雇用)	11	9	9	9	9
	従業員(非正規雇用)	12	8	10	11	11
	合計	26	19	21	20	20

※1 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

※2 市と指定管理者の協定に基づき、エネルギー価格の高騰に伴う市からの補填金があることを仮定しております。

※3 施設利用収入に対する比率を算出しております。

■ [鵜の浜人魚館] アクションプラン・数値目標

■ 一歩先の未来像

- 頸北地域健康増進の拠点施設
- 鵜の浜温泉、ジムリーナと連携した地域活動の拠点施設



■ 主なアクションプラン

- 業務の効率化、部門間の連携強化 … 各部門の業務の見直し、営業会議で改善検討
- 情報共有体制の構築 … 出勤者全員によるお客様情報等の共有の強化
- 営業体制の強化 … 宴会場の有効活用（研修会場・健康教室）、ジムリーナとの連携
- 料理単価の見直し … 原価率、メニュー構成、使用材料などの見直し
- 設備保全の強化 … 日常点検や予防保全の強化による休館の回避、省エネの取組の強化

■ [鵜の浜人魚館] 数値目標・アクションプラン

■ 数値目標(単位:千円)

勘定科目	H31.3期	R4.3期	R5.3期	R6.3期	R7.3期	
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)	
	コロナ前	直前期	進行期	合併後	合併後	
施設利用収入	82,870	46,881	44,755	56,485	66,079	
指定管理料(※1)	33,403	37,253	48,915	46,058	41,423	
総売上高	116,273	84,134	93,670	102,543	107,502	
売上原価	15,313	8,451	8,676	10,612	12,420	
売上総利益	100,960	75,683	84,994	91,931	95,082	
人件費	49,498	39,781	36,257	40,157	40,503	
減価償却費	306	314	214	186	147	
水道光熱費	39,267	29,597	35,000	41,000	42,000	
エネルギー価格補填金(※2)	0	0	△ 11,677	△ 13,678	△ 14,012	
本部経費配賦	0	0	0	946	995	
その他経費	12,270	11,747	12,610	11,710	11,910	
販売費・一般管理費	101,341	81,439	72,404	80,321	81,543	
営業利益	△ 381	△ 5,756	12,590	11,610	13,539	
経常利益	232	△ 5,210	12,790	11,810	13,739	
税引前当期利益	224	△ 107	14,790	11,810	13,739	
人件費率(※3)	59.7%	84.9%	81.0%	71.1%	61.3%	
販売費・一般管理費率(※3)	122.3%	173.7%	161.8%	142.2%	123.4%	
指定管理料を除く営業利益	△ 33,784	△ 43,009	△ 36,325	△ 34,448	△ 27,884	
人員数	役員(非常勤除く)	3	4	1	0	0
	従業員(正規雇用)	15	11	9	11	11
	従業員(非正規雇用)	11	12	10	10	10
	合計	29	27	20	21	21

※1 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

※2 市と指定管理者の協定に基づき、エネルギー価格の高騰に伴う市からの補填金があることを仮定しております。

※3 施設利用収入に対する比率を算出しております。

■ [えしんの里やすらぎ荘] アクションプラン・数値目標

■ 一歩先の未来像

- 里山の豊かな四季の中、
豊富な山の幸でおもてなし



■ 主なアクションプラン

- 売上の拡大 … 長野北信エリアをターゲットに広報活動を強化、SNSの活用促進、食堂メニューの見直し、テイクアウトや屋外提供の独自商品の開発
- 業務の効率化 … 食堂券売機の導入、食器返還のセルフ化、補助業務へのパート採用
- 採算性の向上 … 原価率の抑制、メニューの構成や価格の見直し、仕入れ先の選定
- 顧客分析の強化 … 顧客ニーズの把握、改善の推進

■ [糸しんの里やすらぎ荘] 数値目標・アクションプラン

■ 数値目標(単位:千円)

勘定科目	H31.3期	R4.3期	R5.3期	R6.3期	R7.3期	
	(実績)	(実績)	(予測)	(予測)	(予測)	
	コロナ前	直前期	進行期	合併後	合併後	
施設利用収入	64,375	32,748	44,384	48,960	52,586	
指定管理料(※1)	7,427	21,405	21,405	16,829	13,300	
総売上高	71,802	54,153	65,789	65,789	65,886	
売上原価	22,028	10,496	13,682	12,361	13,691	
売上総利益	49,774	43,657	52,107	53,428	52,195	
人件費	35,156	29,676	30,226	30,154	30,404	
減価償却費	82	80	59	51	48	
水道光熱費	10,623	9,642	12,600	12,800	13,200	
エネルギー価格補填金(※2)	0	0	△ 1,658	△ 1,685	△ 1,737	
本部経費配賦	0	0	0	820	792	
その他経費	9,927	10,690	10,552	10,203	10,452	
販売費・一般管理費	55,788	50,088	51,779	52,343	53,159	
営業利益	△ 6,014	△ 6,431	328	1,085	△ 964	
経常利益	△ 5,486	△ 160	2,328	1,386	△ 664	
税引前当期利益	△ 6,541	△ 208	2,328	1,386	△ 664	
人件費率(※3)	54.6%	90.6%	68.1%	61.6%	57.8%	
販売費・一般管理費率(※3)	86.7%	152.9%	116.7%	106.9%	101.1%	
指定管理料を除く営業利益	△ 13,441	△ 27,836	△ 21,077	△ 15,744	△ 14,264	
人員数	役員(非常勤除く)	3	3	1	0	0
	従業員(正規雇用)	5	4	5	5	5
	従業員(非正規雇用)	8	7	9	9	9
	合計	16	14	15	14	14

※1 指定管理料は、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者数の減少を踏まえて算定したものであり、今後の感染状況等によっては精算を行うことから、利益は変動します。

※2 市と指定管理者の協定に基づき、エネルギー価格の高騰に伴う市からの補填金があることを仮定しております。

※3 施設利用収入に対する比率を算出しております。

柿崎空き家活かそうプロジェクト 会議記録

日時	令和5年2月1日(水) 18:00~19:30	出席者	箕輪委員長、片桐(充)委員、小出委員、 中村委員、吉井会長、片桐(宏)
場所	柿崎コミュニティプラザ 3階 市民活動室		
記録者	片桐(宏)	欠席者	箕輪委員
標 題	第25回柿崎空き家活かそうプロジェクト		
<p>○本日のテーマ</p> <p>(1) 地域の活性化を目的とした空き家利活用の具体案の検討</p> <p>① 拠点整備の検討</p> <p>② プロジェクトの取りまとめの事前検討</p> <p>③ フォーラム発表内容の検討</p> <p>④ 各担当委員からの報告</p> <p>■協議内容の概要</p> <p>① 拠点整備の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月に視察した「一般社団法人空き家活用ネットワーク糸魚川」を参考に、区内の団体から空き家活用のマッチング、移住・定住の受け皿を担ってもらおう。 ・団体には打診済みであり、感触は良かった。団体から了解を得られるよう、再度会長が地域協議会の思いや考え、業務概要を団体に伝える。 ・団体から了解を得た後、令和6年度当初予算要求に向けて、団体、地域協議会、総合事務所の三者が集まり内容を協議する。 ・ただし、地域協議会が具体案をまとめてから三者協議に入る。 ・(仮称)地域独自の予算を活用するため、地域協議会がまとめた具体案を基に三者協議を進め、7月頃までに内容をまとめ上げる。 ・次回の会議は予算、スケジュール等の素案を基に検討する。 ・拠点の候補となる柿崎商工会、総合事務所、旧畳店の3か所についても、メリット、デメリットを検討する。 ・地域おこし協力隊を採用し、空き家利活用と移住・定住業務を円滑に進めることも考える。 <p>② プロジェクトの取りまとめの事前検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治・地域振興課中山間地域振興・移住促進係が移住・定住に関するさまざまな事業を実施していることから、担当から事業内容や課題、現状等を聞く。 ・また、地域協議会が令和6年度に向けて計画している空き家利活用の取組に対する考えや課題を聞き、アドバイスや支援等の約束を取り付けたい。 ・拠点整備の方向性が決まり次第、自治・地域振興課職員との意見交換の場を設ける。 ・現在、移住・定住業務と空き家対策業務の担当課が異なることから、空き家の利活用、移住・定住対策ともに十分な成果が出ていない状況である。窓口を一本化することを意見書で提案する。次回の会議は、意見書の内容についても検討する。 			

③ フォーラム発表内容の検討

- ・資料の中に「行政（上越市）の動向」があるが、地域協議会の活動報告なので行政のことは説明しなくてもよい。
- ・まちづくりフォーラムでは、プロジェクトをどのように締めくくるかを参加者は知りたがっているはず。意見書を市へ提出することや、(仮称) 地域独自の予算を活用し拠点の整備を行うことを資料に盛り込む。

④ 各担当委員からの報告

- ・農業団体で、地域おこし協力隊を受け入れたいという話が持ち上がっている。
- ・移住者の聴き取り調査は進展していない。移住者となると限られるため、嫁いできた人も対象に加えることも考えていきたい。

○次回の委員会開催予定

- ・日 時：2月27日（月）午後6時～
- ・会 場：コミュニティプラザ 3階 市民活動室
- ・議 題：①拠点整備の検討
②プロジェクトの取りまとめの事前検討

以 上